



学校だより



開校115周年 港区立本村小学校 校長 山村 登洋
HP <http://hommura-es.minato-ky.ed.jp/> Eメール hommura-es@minato-ky.ed.jp

頑張る自分を目指して ~夢中になれるものを見つけよう~

校長 山村 登洋

2学期のスタート 学校に活気が戻ってきました。子供たちの笑顔や元気な声。やっぱり学校は子供たちが主役です。42日間の夏休み、おかげさまで大きな事故もなく、無事に新学期を迎えられたことを、大変有り難く思います。また、ラジオ体操や夏季プール、サマースクールなど、夏休み中も保護者、地域の皆様には大変お世話になりました。心からお礼を申し上げます。

夢中になれるもの いよいよ新しい学期が始まりますが、1学期を振り返ると自分が取り組んできたためあてをやり遂げた、頑張りの成果をどこかで表すことができた、そんな子供が多くいます。いろいろなことにチャレンジして自分なりの成果、達成感を得ることができると、次に頑張る力を身に付けることができるようになります。頑張る力が身に付くと、次の目標を見つけたくくなります。夢中になれるものを見つけたくなるのです。

小学校の頃の夢 スポーツ選手も科学者も、宇宙飛行士もみんな小さい頃まったようです。発明王エジソンは、小学校に入学したころから、物に興味をもち、日本人女性2人目の宇宙飛行士、山崎直子さんは、小学札幌の星を見る会に参加して宇宙に興味をもったそうです。



の夢から始まる燃やす実験に生のときに、

次の夢へとつなげる この人たちのように、何かのきっかけで夢中になれる

る自分だけの



の夢をはっきりもつことで頑張れる自分になれることに気付いてほしいと思います。しかし、夢をもつだけではだめです。頑張りを続けるながらその頑張りを次の夢につなげていくことが大切なのです。エジソンは学校から離れ、母と一緒に勉強しながら発明と実験を繰り返しました。山崎直子さんは、初めは学校の先生に憧れていましたが、スペースシャトルに民間の教師が乗っていたことを知り、宇宙飛行士を意識しました。大学で機械の研究をしながら、宇宙飛行士になるための様々な勉強に取り組んだそうです。

夢の実現、本校の卒業生 そして、本校の卒業生にもそんな自分の夢を叶えたスポーツ選手がいます。既にご承知のことと思いますが、8月に開催された全国高校野球選手権大会で優勝した埼玉県代表花咲徳栄高校の先発投手は、本校の卒業生です。大変嬉しく思います。彼は小学校の時から甲子園に出場して投手として投げたいという大きな夢をもっていました。この夢を実現しただけではなく、優勝まで勝ち取ったのです。そこに 至るまでには、私たちには到底知り得ることのできない頑張り、努力があったことと思います。一度本校に来ていただき、子供たちの前で夢の実現、さらなる次の夢の話を知りたいと思っています。



夢を叶えるために、準備や努力を続けることが楽しいことだから、次の夢を見られるのです。子供たちの新しい夢、続ける夢を、ぜひ、この2学期に見つけてほしいと思っています。その夢が、一人の夢だけではなく、多くの人に応援される夢であってほしいと願っています。

授業の窓 5年生

5年学年主任

総合的な学習の時間「Discover World フランス大使館との交流」では、7月14日の革命記念日にフランス大使館に行ってきました。各国の来賓が集う中、フランスと日本の国歌を歌いました。当日までは、フランス語の発音に気を付けながら練習をしてきました。本番では、堂々とした態度で歌声を響かせることができ、観ていたフランスの方から大きな拍手をいただきました。5年生の総合的な学習の時間では、今後も、世界の国々に目を向けた学習を行っていきます。

また、8月8日から10日にかけて、箱根ニコニコ高原学園へ夏季学園に行ってきました。天気が不安定で、一部のハイキングは省略しましたが、3日間の行程はほぼ予定通りに実施することができました。1日目のキャンプファイヤーでは、レクリエーション系の進行の元、火を囲んでダンスやゲームを楽しんだ後、ナイト鬼ごっこで体を動かして遊びました。2日目の十国峠では、周囲の景色を楽しんだ後、アスレチックに取り組みながら長く続く山道をたくさん歩きました。3日目は明け方に雨が降りましたが、海賊船に乗るときだけは天気が回復し、気持ちの良い風の中、芦ノ湖遊覧を楽しむことができました。海賊船を降りた後は、霧が深くなってしまいましたので、本当に天候の隙間をぬって活動した3日間だったと思います。この3日間を通して、友達の知らなかった面を知ることができたり、自分の行動を振り返ることができたり、団体行動の意味や協力する意義を実感することができました。



5年生は、集団生活を通して大きく成長していく一年になります。学校全体にかかわる仕事においても責任をもって取り組んでいる子供たちが、来年度、最上級生として立派に活躍できるよう、何事にも意欲的に取り組み、力をつけていって欲しいと思います。

特別活動（委員会・高陵アカデミー）について

特別活動主任

学校教育における『特別活動』とは、「学級活動」「クラブ活動」「委員会活動」「学校行事」などといった集団の活動を指します。これらの活動は、子供たちが望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養うことを目標としています。

「委員会活動」は、主に高学年が行います。活動には、当番的活動と自治的活動があります。保健委員会の保健室でのお世話や、図書委員会の図書室で貸し出し手続き、給食委員会が栄養黒板を記入すること、環境委員会の分別チェックやペットボトルキャップの回収、音楽委員会の音楽集会での演奏、放送委員会の登下校時の放送などは当番的活動です。一方、自治的活動とは、児童全員がよりよい学校生活を送るために話し合い、自主的に何をすればよいか考え活動することです。集会委員会が児童集会の際にみんなを楽しませるための内容を考えることや、代表委員会が、学校全体で協力して「世界の子供たちのために」ユニセフ募金を行うことを決めたのも自治的活動です。10月にはユニセフ集会を開き、その後、募金を行います。ご協力をお願いします。

また、代表委員会は、本村小学校の代表として、高陵アカデミー子どもサミットに参加をしており、高陵中学校・箕小小学校の代表者と共一堂に会し、つながりをもった活動をしていこうと話合っています。昨年度は、そこで話し合い、「しあわせの木」や「熊本県地震への募金」を行ったり、旧5年生代表委員を中心に「カンボジアのロンリースマイル小学校への募金」の協力をお願いしたりしました。本村小学校の子供たちが、学級の一員、本村小学校の一員、高陵地区の一員として、みんながよりよい生活を協力して目指し、自主的に考え行動できる人に育ってほしいと願っています。

国際理解教育について

国際科担当

港区では、年間70時間、国際科の学習を実施しています。加えて、港区では全校に2名ずつ、1～6年全クラスの国際科の授業に外国人講師が配置されています。これは港区独自の取り組みです。また現在、港区国際科部では、平成32年度からの外国語活動完全実施に伴い、カリキュラムの改訂と共に、新たな港区のテキストブックを作成しているところです。

これだけの環境が整っている港区は、全国的にみても大変恵まれている方だと思います。

ただ、その環境を最終的にどれだけ生かせるかは、子供一人一人の「自己表現したい!」という意欲が、「間違えたら恥ずかしい、できない、人前で恥ずかしい」にどれだけ勝るかが、大きく影響します。まさに「好きこそものの上手なれ」です。

私は以前インターナショナルスクールキンダーガーテンに勤めていたことがあります。入園したての3歳児クラスは英語皆無で入園しますが、「間違える・失敗する」という思考より「やりたい・自己表現したい」の欲求が圧倒的に勝る時期ですので、躊躇することなくNTの真似をし、表現しようとしています。そして1年が終わる頃には、ストーリーテリングの時間に、知っている短い言葉を沢山使って、2～3分の間、一人で宝物の話をするようになっていました。もちろん園児自身は、自分の発音が間違っているとか文法がおかしいなど考えてもいません。コミュニケーションがとれて、自分の言いたいことを表現できればそれで満足なのです。

私は、「これだ!」と思いました。文法や発音を完璧にして話すことよりも、大切なのは、自分の伝えたいことを表現して、いかに相手とコミュニケーションがとれるかが大切だと3歳児に教えられました。

2020年にはオリンピックもあり、日本には、今後、更にますます多くの外国の人がやってきます。いろいろな国の人とコミュニケーションがとれるようになった時の自分を想像し、楽しくワクワクするような目標をもち、自分の未来の広がりのために国際科の時間はぜひ楽しんで積極的に声を出してほしいです。

生活のリズムを整えよう

生活指導委員会

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期がスタートしました。夏休み中、各ご家庭で子供たちはそれぞれの生活リズムで過ごしていたと思います。長期の休み明けですので、学校生活のリズムを取り戻すには時間がかかるかもしれませんが、早寝・早起きを心がけ、学校中心の生活リズムを整えてください。朝ご飯をしっかり食べ、毎日笑顔で元気に登校できるようご家庭のご協力もどうぞよろしくお願いいたします。

2学期は学習の充実期となる学期です。また展覧会や遠足・移動教室などの学校行事もありますので、日々の学習と行事を通して豊かに成長して行ってほしいと思います。そのために、落ち着いた生活を送ることが基本となります。時刻を守ることや、休み時間の過ごし方を考えること、交通のルールを守ること等、学校内のルールと社会のルールを守ることが大切にしてもらいたいと思います。集団の中において、一人一人が大切にされ、お互いに楽しく過ごせるために、ルールは作られてきています。ルールの中で楽しく過ごし、気持ちと行動、両面において「切りかえる」ことも意識して、よりよい毎日を過ごせるよう、生活指導を行ってまいります。

9月の生活目標は、

「生活をきりかえ、

規則正しく生活しよう」です。

<今月の生活努力目標>

- ・夏休みの生活から2学期の生活へのきりかえを早くしよう。
- ・登下校時刻、交通のきまりを守ろう。
- ・休み時間は、きまりを守って遊ぼう。
- ・チャイムの合図を守ろう。

児童引き渡し訓練

生活指導主任



本年度も大規模地震や、不審者対応などの際に、児童の安全を確保し、確実に保護者の元へ児童を早急に引き渡さなければならないという事態を想定して、児童引き渡し訓練を9月2日(土)に行います。

今年度は昨年度までとは違い、引き渡し訓練を、校庭で行います。本日、配布させていただきました引き渡し訓練のお知らせをお読みになりご協力のほどお願いいたします。

○主な流れと引き渡し訓練の概要について

保護者の方、年度当初に登録していただいた引き取り人の方は、緊急メールやホームページをご確認の上、10時35分に校庭にご集合ください。引き渡しは児童が校庭に集合後、確認の上、**おさない**一斉に行います。

かけない 今回は、西門からお入りください。学級ごとに校庭に並んで、放送の合図で引き渡しを行います。兄弟姉妹がいる場合は、高学年のお子さんからお引き取りください。雨天の場合は、教室での引き渡しになりますので、校庭西門より入り、廊下でお待ちいただくことになります。

帰りも、西門から退出していただきます。今回は地震の設定で行いますので、タタメットをかぶって下校します。ご家庭に持ち帰ったら一度水拭きなどをしてきれいにしてから、9月4日(月)に学校に持ってきてください。

大切な訓練になります。どうぞご協力 **しゃべらない** よろしくお願いいたします。

もどらない

もどらない ※東日本大震災の際には、電話が繋がらなくなり緊急連絡網が機能しなかったことがありました。学校からの連絡を皆様に迅速にお伝えするためにも緊急メール配信をさせていただきます。ご登録されていない方がおられましたら、この機会にぜひご登録ください。

9月

の行事予定

日	曜日	学校行事・予定等
1	金	始業式、給食(始) 4時間授業
2	土	土曜授業日 B時程 3時間授業 引き渡し訓練(避難訓練)
3	日	
4	月	全校朝会 保護者会(123年若竹) 5時間授業(1~3年若竹) 発育測定(6年)
5	火	児童集会 安全指導 発育測定(5年) 委員会活動(前期最後)
6	水	B時程 4時間授業(1~5年若竹・水泳記録会のため) 発育測定(若竹) 港区水泳記録会(6年)
7	木	発育測定(3年) 若竹学級事前交流会 保護者会(456年) 5時間授業(12456年)
8	金	全校読み聞かせ 発育測定(4年)
9	土	
10	日	
11	月	全校朝会 発育測定(2年) なかよし班遊び
12	火	発育測定(1年) クラブ活動
13	水	B時程 プラネタリウム見学(4年) 4時間授業(区研究会のため)
14	木	体育集会 幼稚園交流給食(4年)
15	金	
16	土	土曜授業日 B時程 3時間授業 新1年向け学校公開
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	朝読書 移動教室事前健診(若竹) クラブ活動
20	水	B時程 特別支援学級合同移動教室(始)
21	木	
22	金	水泳指導(終) 特別支援学級合同移動教室(終)
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	全校朝会 脊柱検査(二次)
26	火	音楽集会 委員会活動(後期)
27	水	B時程 Everly訪問ミニ音楽会(123年)
28	木	遠足(34年)
29	金	B時程 4時間授業(高陵ア카데미研修会のため)
30	土	
10/1	日	都民の日

☆今月の放課後遊びはありません。
※天候等によって予定が変更することがありますのでご了承ください。

